

AIが開発現場に与える影響 と今後の予想

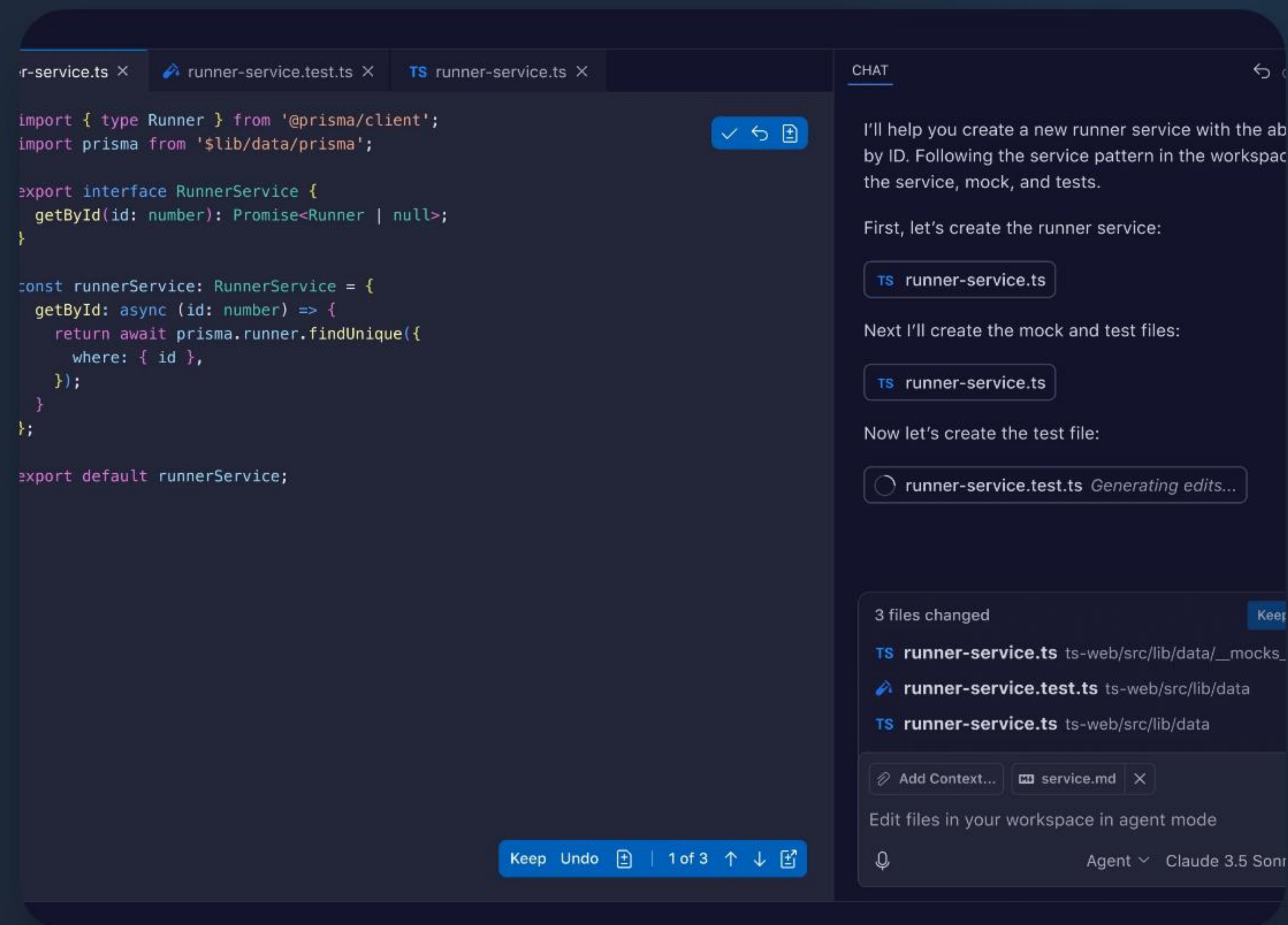
ソフトウェア開発のパラダイムシフト：2024-2030

開発現場におけるAIの現状

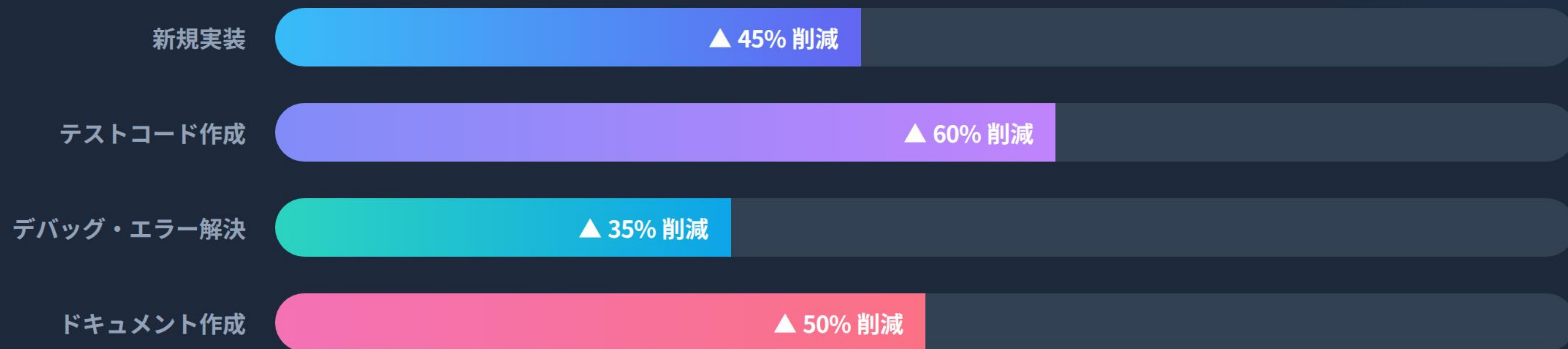
AIツールはもはや「補助」ではなく「標準」へ

コーディング支援ツールの標準化

- ✓ **GitHub Copilot / Cursor:** IDE内でのリアルタイムなコード補完が当たり前。
- ✓ **ボイラープレートの自動生成:** 定型コードの記述時間を大幅に削減。
- ✓ **コード解説とリファクタリング:** 既存コードの意図をAIが即座に説明し、改善案を提示。
- ✓ **ドキュメント生成:** コメントや仕様書作成の自動化。



AI導入による生産性の向上（タスク別）



※ 一般的なエンジニアのタスク完了時間の短縮率（推定）

SDLC（開発サイクル）全体への浸透



企画・要件定義

AIを壁打ち相手に、仕様の矛盾点やエッジケースを早期に見。



設計・アーキテクチャ

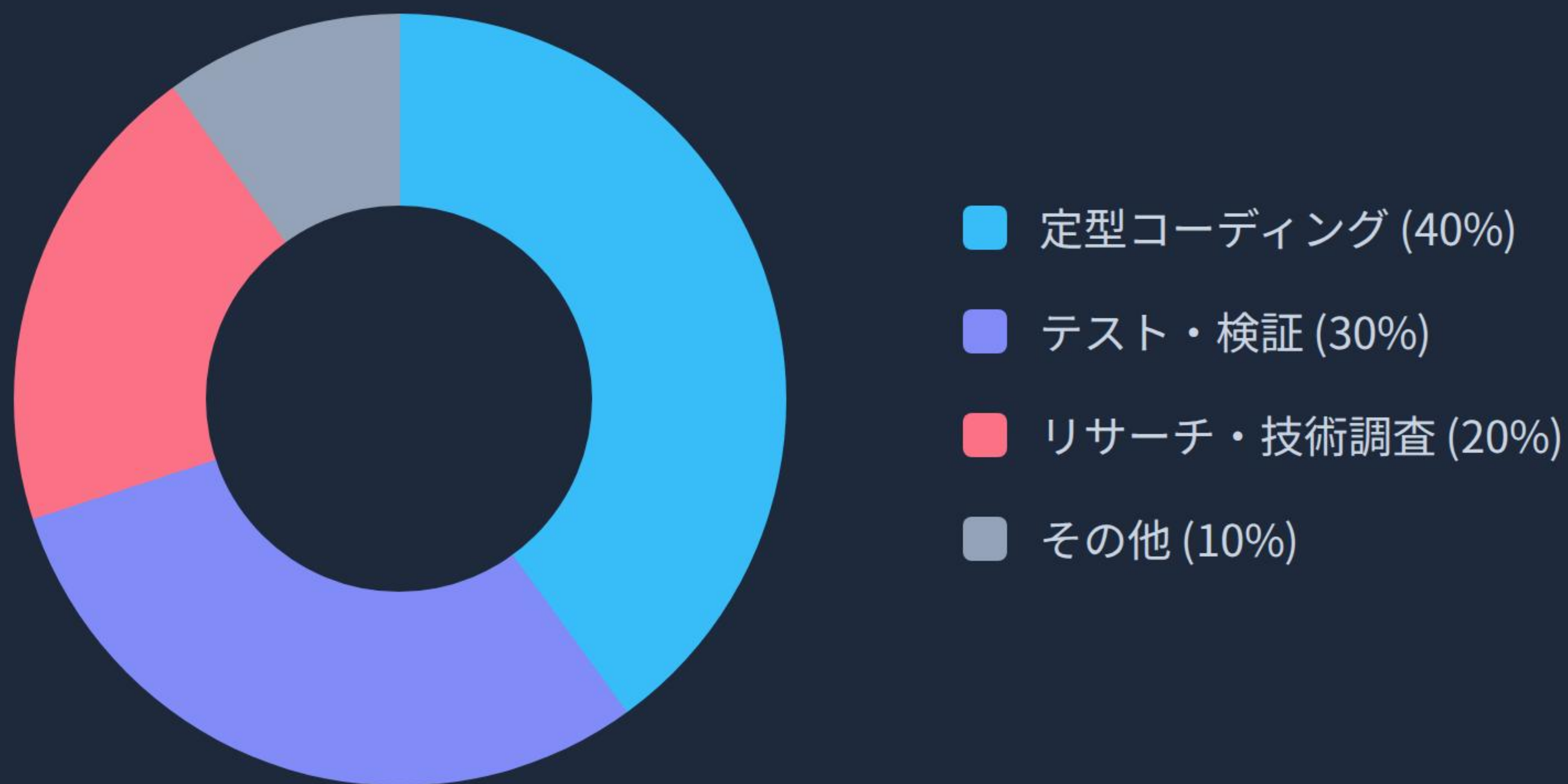
自然言語からER図やシーケンス図の雛形を生成。設計の一貫性をチェック。



セキュリティ・QA

静的解析と連動し、脆弱性をリアルタイムに検知。回帰テストを自動生成。

エンジニアがAIに期待する業務範囲



課題とリスク

生産性の裏側に潜む「エンジニアの質」への懸念

直面する3つの主要課題

技術力の空洞化

AIの生成コードを理解せずに採用することで、基礎的なプログラミング能力やデバッグ能力が低下する懸念。

セキュリティとガバナンス

機密情報のAIへの入力リスクや、生成されたコードに含まれる未知の脆弱性、著作権侵害の可能性。

技術的負債の蓄積

大量のコードを安易に生成することで、メンテナンス困難なスパゲッティコードが急増するリスク。

未来予想：2025年～2030年

自律型エージェントが変えるソフトウェア開発の形

開発現場の進化ロードマップ



エンジニアの役割の変化

「書く人」から「導く人」へ

コードを書くスキルの相対的価値は低下し、以下の能力が最重要となります：

- ✓ **要件定義と問題解決力:** 何を作るべきかを正しく定義する。
- ✓ **AIマネジメント:** AIを最適なツールとして使いこなす。
- ✓ **検証・評価能力:** 生成されたシステムの妥当性を担保する。



ご清聴ありがとうございました

AIを味方につけ、より創造的な開発へ

2025 AI Development Future Report

| Image Sources



<https://images.ctfassets.net/8aevphvgewt8/7xenBC7iqpKfe5tXk9TKby/ca78ec4e1918cf82681613fcb7e9468/hero-poster-lg.webp>

Source: github.com



https://static.vecteezy.com/system/resources/thumbnails/032/833/015/small_2x/abstract-digital-technology-brain-futuristic-ai-artificial-intelligence-blue-background-cyber-science-health-tech-innovation-chat-future-big-data-internet-network-connection-cloud-hi-tech-vector.jpg

Source: www.vecteezy.com